

担任

5 身近な人を遊びに誘おう 指導者 ( )

学 習 活 動	時間	・留意点 ○教材例
<b>前時の復習</b> ・「何ですか」とTが問いかけ、Sが答える。 ・分からない時は「分からない」と言うことを復習し、名前を覚えていない物で会話をする。	5分	○前時で使用した文房具や絵カードなど
<input type="checkbox"/> ①身近な人の言い方が分かる ・写真や絵カード、ペープサート（紙人形）を使い、身近な人の言い方を知り、Tの後についてSが言う。 <b>例</b> <input type="checkbox"/> 先生 <input type="checkbox"/> 友達 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> お父さん <input type="checkbox"/> お母さん <input type="checkbox"/> お兄さん <input type="checkbox"/> お姉さん <input type="checkbox"/> 弟 <input type="checkbox"/> 妹 <input type="checkbox"/> おじいさん <input type="checkbox"/> おばあさん ・次の「誰ですか」「～です」と合わせて、会話をする。	8分	○「みえこさんのにほんご」P20 ○『にほんごをまなぼう』P99 ○担任や友達の写真を撮っておき、使うもよい。 ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→低・会話編28「家族のこと」絵カード「家族」でペープサートを作成するとよい。
<input type="checkbox"/> ②「誰ですか」と質問する T：誰ですか。 S：お父さんです。 ・この時、答えられなかったら教える。テンポよく、「誰ですか」「～です」とたくさん答えることで、質問と答えの言い方に慣れるようにする。 ・立場を交換し、Sが質問する。	15分	・身近な人の言い方と合わせて会話をする。
<input type="checkbox"/> ③「入れて」「～しよう」を言う ※地域や発達段階により「わたしもいい？」等、実際に使う言葉を取り上げる。 ・遊びに入りたそうにしている人物のイラストを見て、どんな会話をしているか、Tが演じる。 ・友達が遊んでいる時に「入れて」を言うことを知る。 ・実際に周りの児童生徒が休み時間によくしている遊びの名前を知る。 ・「～しよう」の言い方と答え方を知り、会話をする。 （例：「ドッジボールしよう」「いいよ」） ・裏返しにした遊びの絵カードを引いて、出てきた遊びで会話をする。TとSが立場を交換して会話をする。	15分	○『にほんごをまなぼう』P28、29 ○「こどもの日本語ライブラリ」→指導計画例→低・会話編28「家族のこと」 ・断りの言い方（「ごめん、だめ、勉強」等）を同時に教えられるとよいが、難しい場合は聞かせる程度とし別の機会に取り扱う。
<b>本時の振り返り</b> ・本時で学習した語彙や表現を復習する（イラストを見て言葉を言うなど）。	2分	○本時で使用した写真や絵カードなど

メモ

日本語初期指導  
ぐんぐんプログラム